



第
107
号

発行日: 2026年10月1日

発行: 特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
(大津市地球温暖化防止活動推進センター)

住所: 〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階

電話: 077(526)7545

フォーラムHP: <https://eco-otsu.net>

Eメール(事務所): forum@eco-otsu.net



＜事務局長から＞ 野も山も秋景色となつてまいりました。過日、理事懇談会を開催し、フォーラム、大津市センターの目指すべき方向性に対応について話し合いました。平成13年に市民、事業者、市により設立されて以来早25年、会員の高齢化が進んでおります。新規加入者へのお声掛けに努めていかなければなりません、ご支援ご協力お願い申し上げます。季節の変わり目ご自愛くださいますように。 会員数110名 (2026年9月末現在)

トピックス

○ おおつエコフェスタ2026を開催しました

8月9日、ピアザ淡海の大会議室とホワイエにて「おおつエコフェスタ2026」を開催しました。午前中から30℃を超える猛暑の中、また、お盆休み中にもかかわらず約1,000人が来場され、夏休みの一日、親子で環境問題やエコについて楽しく学ばれました。



会場では21団体がヨシ工作、再エネ発電体験、ごみ分別クイズなどの体験ブースやエコグルメブースを出展され、当フォーラムからは「ビオトープの生きもの塗り絵」「家庭の省エネ簡易診断」「エコチャレ体験(大津市環境政策課と協同)」のブースを出展しました。また休憩室で地球温暖化啓発ビデオを放映しました。ステージでは、5団体にチアダンス、キッズダンス、紙芝居やバルーンアートのパフォーマンスを披露していただきました。来場した子どもたちにはビンゴシートを渡し、シールラリーに挑戦していただきました。ビンゴ成立で景品がもらえるとあって長時間にわたって多くのブースを訪れていました。また、TV局や新聞社の取材が入り、それぞれ報道されました。

○ 自然家族事業 びわ湖の日①「湖の学校 びわ湖の生きもの観察」を開催しました

7月25日、びわ湖大津館にて自然家族事業びわ湖の日①「湖の学校 びわ湖の生きもの観察」を開催し、応募21家族から抽選で選ばれた9家族24人(うち子ども12人)が参加されました。



挨拶と講師・スタッフの紹介の後、びわ湖大津館前の湖岸で琵琶湖環境科学研究センター専門研究員の井上栄壮先生による湖底の生きもの採取の見学です。実際の研究で行っている方法での採取ですが、気温はすでに33.5℃。特殊スーツをまとう先生は汗だくです。見学の後ホールに戻り、井上先生から琵琶湖の多様な生きものを支える底生生物についてのお話を聞いた後、採取した底生生物の観察調査です。バットに入った砂や泥の中からピンセットや拡大鏡を使って、初めにミミズだけを数えていきます。次いでミミズ以外の底生生物を数えます。ヒル、シジミ、タニシ、カワニナなどたくさん見つかり、その数を記録表に書き込んでいきました。小さい底生生物は顕微鏡を覗いてその姿を調べました。最後に砂地の湖底で見つかった生きものの数と泥地のそれとの違いについて先生の解説をお聞きしました。泥地は生きものに住みづらい環境なのでしょう、ミミズの数には1/4ほどしか見つかりませんでした。猛暑の中での開催でしたが、無事に終えることができました。

○ 「環境すごろく大会」を実施しました

7月12日、(株)平和堂、大津市企業局との協働企画として、県「びわ湖の日」にあわせた出前講座「地球温暖化防止すごろく大会」をアル・プラザ堅田店において実施し、23組68人に参加していただきました。会場では、す

ごろく大会のほかに、大津市企業局のマンホールぬり絵大会、大津プラごみ削減勉強会のクイズ大会、成安造形大学ボランティアグループのヨシのランプシェードづくりも開催されました。すごろく参加者には、グループごとにA3判環境すごろくを、全員に平和堂から飲み物やお菓子をお持ち帰りいただき、多くの参加者に楽しみながら地球温暖化防止を学んでいただきました。幼児・小学生の家族連れや中高生グループなど幅広い年齢層の参加がありました。知らないことも多く、勉強になったとのコメントが寄せられました。



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《里山保全プロジェクト》

8月2日、春日山公園近世ゾーン入口を塞いでいたリョーブの倒木を4人でチェーンソーを用いて根元から切り撤去しました。



《ビオトープづくりプロジェクト》

9月12日、春日山ビオトープで草刈り作業をしました。今回は一般参加の市内在住の親子2人を招待して、草刈り体験と生きものつかみを楽しんでもらいました。この方たちは、エコフェスタのおおつ環境フォーラムブースに来場された親子さんたちに、活動体験をしませんかと声掛けをし、応じていただいた親子さんで、作業着と手袋を身に着けた万全の装備でやる気満々の参加でした。スタッフ、スタッフの子どもも合わせ総勢10人で、森のように繁茂した草木を草刈り機や枝切り鋏、鎌で刈りました。最終的にトイレ横の草置き場に二筋の高い山脈ができるほどの収穫でした。後半の作業のときに、子どもたち3人と体験者にスタッフが生きものつかみを指導しました。ショウリョウバッタやキリギリスのなかま、トノサマガエル、メダカ、シマゲンゴロウ、ギンヤンマのヤゴなどたくさんの生きものが見つかりました。なかでも、アメリカザリガ

地球温暖化NOW!を開催します 入場無料

「私たちは地球温暖化にどう向き合っていくべきか」をテーマに、記録的な暑さなど深刻化する気候変動から命を守りながら、同時にさらなる温暖化を防ぐために、私たちに何ができるか、一緒に学びましょう。

- 日時 2026年10月10日(土) 14:00～16:00
 - 会場 平野コミュニティセンターまたはオンライン
 - 講師 立命館大学経済学部教授 島田幸司 氏
- 応募はこちらから▶▶



ニは幼体だけでなく大きな成体までたくさん見つかり、子どもたちは大喜びでした。体験者のお子さんは生まれて初めてのアメリカザリガニなので恐る恐る触れていました。ちなみにアメリカザリガニは特定外来種なのでスタッフが持ち帰り、鶏のエサにしました。途中休憩のときに、東屋でお茶を飲みながら、ビオトーププロジェクトの活動内容やおおつ環境フォーラムについて説明をしました。フォーラムの活動に興味を持ってもらえることを祈っています。

■これからのフォーラム活動 本文に記載の予定は省略

プロジェクト等の名称	日 時	場 所 ・ 内 容 []内は予備日
プロジェクト		
ビオトープづくり	10月 4日(日) 9:00	北大路どろんことーぷ//草刈りと池の整備
	11月 7日(土) 9:00	瀬田公園//自然家族事業里山の日②の準備
里山保全	毎週(月)(水)(金) 8:30	春日山公園と隣接地//例会・作業
エネルギー	10月 3日(土) 11:00	ランチ大津京//リサイクルフェア2026出展
	10月 6日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	10月 18日(日) 10:00	明日都浜大津//2026おおつ健康フェスティバル出展
	10月 24日(土) 13:00	生涯学習センター//2026生涯学習フェスティバル出展
	11月 10日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
理事会	10月 1日(木) 13:00	市民活動センター//理事懇談会
おおつ市民環境塾実行チーム	10月 23日(金) 10:00	東レ(株)滋賀事業場//講座7「大津の環境先進企業訪問」
	11月 7日(土) 10:00	堅田駅西口集合本堅田地区//講座8「秋の自然観察会」
自然家族事業実行チーム	10月 3日(土) 9:30	オーパル//びわ湖の日②「カヌー体験と生きもの観察」

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）